

H2.4 建設部門必須科目

防災減災に向けた今後の社会資本の整備

I 我が国の防災・減災に向けた社会基盤整備の課題とその内容

1、我が國の防災・減災に向けた社会基盤整備の課題
東日本大震災や大規模な地震災害に我が国が直面する問題を踏まえ、液化強度を高め、耐震化を実現するための対策、さらには、未だ想定されていない災害に対する対応策について、現状と課題を明確化する。

2、我が国の防災・減災に向けた社会基盤整備課題の内容

(1) 大規模地震の発生に備えた耐震化・液状化

がて・下備盤し海直に基生南都震会発東首地社が・る模の害海れ規く被東さ大。多のる定、る、等あ想りいは下でがおてて沈震害てれい、地被れがお壞大なさ急に崩巨大摘が災な型甚指策震模溝やが対大規海震性化本大、地迫状日うは動切液東伴後連の・のに今三ど震般化。のな耐液い南地え

(2) 大規模かつ広域的な津波・高潮対策の強化

主規もわの よるめ
てわ大てい海 にす求
し行がしと南。波置が
定がる対、・る高位策
想策ありにり海あ・に対
を対は波あ南で潮下潮
波てで津が東題高面高
津し度す要・課る海な
いと頻ら必海のよの急
高心低たる東緊に域早
度をめを進れは台沿で
頻策極害にさ策は、域
生対な被的定対でり地
発ドうる国想波部おる
の一よた全が津岸てす
較ハのわを生の沿け中
比の回に策発ど国受集
、等今囲対のながをが。
で防、範災波震我害産る
ま堤が広減津地、被資い
れ岸たつ・大動た波・て
こ海きか災、連ま越口れ
にて模防け三 る人ら

(3) 治水対策及び大規模土砂災害の未然防止

形地、土發層も強め、ま地多う災策る。各が伴砂対あ備め。占い全災雨模治要の地布年土や大らが基丘分毎る震うか応会地広くに、にこなた山がやれで火こ早向を質れ崩年噴。へに割地わけ近山る策災の弱見、たやて砂・國・にりま塞し土災國、雜等べ。閉生模防は複雨する道発規の國で豪地い河で大国が峻や、て・いびが我急風流し壊次及我は台石生崩相化Ⅱ

(1) 大規模地震の発生に備えた耐震化・液状化対策への意見

造りす地、す
構イ築る造築
めクを言礎を
たダ物と基ム
る（造素、テ
す性構要良ス
に勒”定盤シ
手料い確地い
相材強不、強
をとりのはり
震）ばつでば。
地一ね一策ねる
なシ“う対、あ
定ンたら化てで
確ダえ、状せき
不ン備た液合ベ
，ダねまる組る
はリ兼。すをめ
で（をると者努
化性）あ象両に
震長一で対はう
耐冗イキをたよ
的テベ盤まる

(2) 大規模かつ広域的な津波・高潮対策の強化による見意

津波は、その規模が大きくなるほど、対応する見意も複雑になります。たとえば、津波が海岸線に沿って進む場合、その速度や高さによって、沿岸部では浸水被害が発生しやすくなります。また、高潮は、河川からの氾濫水や、海上からの高潮による水位上昇によって、内陸部でも被害が発生する可能性があります。

一方で、津波や高潮に対する対策としては、海岸堤防の整備や、河川の改修工事などがあります。また、早期警報システムの導入によって、津波や高潮に対する警戒意識が高まることで、被害を最小限に抑える効果があります。

(3) 治水対策及び大規模土砂災害の未然防止への意見

治水対策は、河川の氾濫や洪水による被害を防ぐためのものですが、近年では、土砂災害に対する対策も重要な位置を占めています。特に、豪雨による土砂崩れや、河川の堆積土砂による河床高揚などの問題が、頻繁に発生していることから、対策として土砂洗掘工事を実施するなど、土砂災害に対する取り組みが進められています。

また、土砂災害に対する対策としては、河川の改修工事や、河川の開拓工事などがあります。しかし、これらの工事は、河川環境や周辺の生態系に大きな影響を与えることがあります。したがって、土砂災害に対する対策は、河川環境の保全や、生態系の維持にも考慮される必要があります。